

平成 27 年度 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)  
1 対 1 対談 (熊野市) 会議録

1. 開催日時

平成 27 年 10 月 7 日 (水) 11 時 00 分～12 時 00 分

2. 対談場所

熊野市活性化施設 1 階 大研修室(熊野市久生屋町 1488 番)

3. 対談市町名

熊野市 (熊野市長 河上 敢二)

4. 対談項目

～「働く場の創出と地域振興について」～

- (1) 新たな事業の立ち上げ、企業誘致への協力について
- (2) 広域連携による国内外からの集客拡大について
- (3) 国道 311 号の改修について
- (4) 紀和町における観光施設活用のための県道等の整備について
- (5) 東京オリンピックのキャンプ候補地について
- (6) 近畿自動車道紀勢線(熊野市久生屋町～紀宝町)早期事業化について

5 会議録

(1) 開会あいさつ

知 事

本日は大変お忙しい中、河上市長におかれましては、1 対 1 対談のお時間をいただきましてありがとうございます。この 1 対 1 対談も今回 5 回目になる訳でありますけれども、本当に、この地方創生、人口減少に立ち向かっていかなければならない、そういうタイミングでありますので、今日もそういう話題結構多いと思いますけれども、有意義な時間としていきたいと思っております。また、この来年の伊勢志摩サミットや昨日終わりました「わかやま国体」、6 年後に国体を控えるわけですが、今回わかやま国体は大変多くの皆さんのご協力でいい成績が 16 年ぶりの 20 位代、特に皇后杯においては、去年 38 位から 23 位に上がったというようなことで、非常に、特に女子選手の活躍が良かったものですから、そういう皇后杯も大変いい結果が出たというようなことで、この来年のサミットや国体、あるいはオリンピック・パラリンピック等、大きな行事を控えているときでもありますし、そういうのを含めた、有意義な時間としたいというふうに思っておりますので、何卒よろしくお願ひしたいと思いま

す。本日はどうもありがとうございます。

## 熊野市長

鈴木知事は本当にお忙しい中、熊野市までおいでいただきましてありがとうございます。こうして1対1の話し合いができる機会を作っていただいたことにも感謝申し上げます。今知事にもおっしゃっていただいたとおり人口減少対策にどうやって対応していくか、これはもう本当に熊野市をはじめ東紀州、おそらく三重県南部の方は同じ課題ではないかと思いますが、熊野市にとっても働く場の創出を通じた人口減少対策の推進については、従来から市政の最重要課題のひとつとして取り組んできておりますし、これまでの1対1対談においてもほぼそのことに集中させていただいているのではないかと考えています。

今回は項目がたくさんあるのですけれども、従来の延長のようなものもございますし、少し先を見通したものもございますが、ぜひ熊野市だけで対応できない課題がたくさんあります。県の特段のご支援・ご協力をいただけますようお願いを申し上げます。よろしくお願いいたします。

## (2) 対 談

### 1 新たな事業の立ち上げ、企業誘致への協力について

## 熊野市長

今知事にもご覧いただいた通りでございますが、まだ埋め立て途中でございますが、今後郊外にある5haの農用地が整地され、平地として活用できるということで、少しでもこれを活用して働く場所をぜひとも作りたいたいと思っていますところでございます。農振農用地ですので、大規模な温室ハウス、もしくは農業系の企業の誘致を進めたいと。ハウスの整備に当たっては、やはりどのような品目を栽培するのか、この地域の気候やハウスを利用してどのようなものができるかというのが大切ですし、その温室ハウスの運営、あるいは経営ということを考えればどういった品目がいいのかということの検討が必要になってきます。いずれにしても、栽培技術の知識が無いと中々品目を検討することができませんので、そういう意味では、先ほど言いましたように市の方でも色々検討しているのですが、根本的にそういう専門性については不十分な面がありますので、こういうところで色々アドバイスを頂ければありがたいと思っていますし、農業系の企業の誘致については、市の方でもアンテナを張り巡らせて色々な可能性を探っているところですが、いかんせん情報が少ないところもございまして、こういう所については、ぜひとも県の立場で、色々な所と接点のある

ネットワークのある知事をはじめ県の皆さんと情報提供といったご支援を頂ければありがたいと思っっているところがございますので、どうかよろしく願いたします。

## 知 事

はい、ありがとうございます。今現地も見せていただいて、市長からもこの熊野市にとって大変貴重な平らな一定の面積を確保できる場所ということで、非常に期待度の大きいお話をいただきました。また、道路建設の残土も活用いただいているということで、それについても大変我々としてもありがたく思っておりまして感謝申し上げたいと思います。そういう意味でせつかくの期待の大きい、また高速道路も見据え、またさらに周辺の施設との関連等も考えて、非常に期待度の高い土地だというふうに思いますので、我々も積極的に協力をさせていただきたいと思います。まず今回のテーマ全体に流れる働く場の創出ということにつきましては、先般議会の方でも中間報告をさせていただきました、来年度の経営方針、ここにおいて来年度重点的に取り組む取り組みのひとつとしてこの南部地域における働く場の創出、これを掲げているところでありますので、我々にとっても県の中の来年度の取り組みとしても大変重要な取り組みだということで、明示的に掲げさせていただいているところでありますので、我々も積極的に取り組んでいきたいと思っいます。

まず、企業の参入の関係の話ですけれども、各地域の農業改良普及センターに担当者を配置したり、農林水産支援センターに相談窓口を設置したりしているところでありますけれども、加え現在の取り組みとしては地方創生の交付金を使って「三重の企業等の農業参入による地方創生モデル事業」という、新規雇用と遊休農地解消というのを条件に、初期投資経費を支援するという事業をやっていまして、2つの事業者の支援をしているわけですけれども、新たに追加募集を行っているという所でありますので、そういうものも色々視野に入れながら協力をさせていただきたいと思っいます。

後、実は昨年度、食品製造業とか建設業とか約 900 社の企業に農業参入に関する意向調査みたいなのをやらせていただきました。その結果、約 50 社が「農業参入等に関心あり」というような、そういう意向があったということでありますので、企業訪問、それからセミナー、こういうのを実施する中で熊野市の先ほどの土地の情報等も提供させていただいたり、さらに関心があるところについては直接熊野市にやっていただくようなそういう橋渡し等もやっていきたいと思っいます。

後、国がやっている農業参入フェアというのに三重県も参加していますので、そういうところでも、今年度もあと 10 月に仙台、11 月に福岡、1 月に大阪でや

るらしいので、熊野市の情報も、そういうのに我々が参加した時に提供をさせていただいて、関心の高いものがあれば、ぜひとも橋渡しさせていただきたいと思っていますところであります。

また、少しあちらの下見の場でも触れましたけれども、三次募集だったか、国家戦略特区の規制緩和の項目で、三重県が植物工場も農業用施設にしてほしいと、これは農業用施設にしないと、さっきの土地みたいな農振農用地で建てたりできませんので、その規制緩和をお願いしていたところ、時期は未定ですが、省令改正を行う意向という回答がつい最近この一両日中に出てきたばかりなのですけれども、今後それが省令改正されればまたそういう部分の根も広がっていくのかなと思いますので、単なる企業参入だけではなくて、そういう植物工場等、色々な形態も視野に入れていきたいと思います。

栽培技術の所については、我々も普及員を中心にあるいは農業研究所等、様々持っているところ色々ご相談させていただいて、その適地、あるいは企業との関係で一番いいところ、あるいは物流との関係で、市場性・コスト等も考えての色々なご相談に技術的な支援にしっかり協力していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

### **熊野市長**

今の最後にある特区の規制緩和の話は、今後の話にしてもそう遠くない話なので、先ほどの企業誘致に関連して、植物工場になると我々では中々対応できないと思いますので、そういう利用者・企業の情報についてもぜひよろしくお願いしたいと思います。

## **2 広域連携による国内外からの集客拡大について**

### **熊野市長**

伊勢志摩サミットが開催されることによって、ますます三重県においては海外からの注目を浴びることになると思います。これまでも県ではインバウンド対策については力を入れて取り組んでいただいているところでございます。昨年の8月～9月にかけては、台湾から600人を超える方々に熊野古道体験ツアーとして、県のご尽力で熊野市に来ていただくことができました。大変ありがたいと思っていますところでございます。お礼を申し上げたいと存じます。

サミットが開催されて注目を集めるということでございますが、ぜひこの際、伊勢志摩を中心にこの東紀州も連携をさせていただいて、その後多くのお客さんがこの地域にも訪れていただけるようにぜひともさらなる協力の取組をお願い

いしたいと思っています。

これは多分同じ考えをお持ちではないかと思うのですけれども、今海外から、特にアジアからはツアー客、それとゴールデンルートを中心としたインバウンドになっていると。当然日本も昔はツアーでパリ・ロンドン・ローマというゴールデンルートばかりがどんどん横に広がっていったと。ゴールデンルートにも近いということもありますし、伊勢志摩サミットで情報発信されれば、とりあえずツアーとしても、三重県周遊が増えてくるのではないかと予想されます。そういう意味では、周遊となると、多分伊勢志摩だけではなく、伊勢志摩と東紀州とか伊勢志摩と例えば伊賀とか、そういう県内の横の連携を通じたツアーコースというものを設定していただく方が、個人客は別にして、ツアーの確保に向けては有効な策ではないかなと思っていますので、そういう点を含めてぜひとも今後ともなお一層の取り組みをお願いしたいと思います。

それから、今の連携の話に関連するのですが、国道 260 号・42 号・311 号、これを活用した、この道路はいずれも海岸線を走るという非常に景観のいい道路でございまして、リアス式海岸としては三陸海岸と並ぶ景観の海岸だと思っています。実は私、以前からこの話は関係する首長さんには機会を通じて申し上げておりました、少なくとも志摩からこの海岸沿いの首長さんの皆さんは少なくとも知っていただいていると思うのですが、中々先頭を切ってこういう連携した取り組み、景観道路として名前を付けてビューポイントを整備したり、受け入れ態勢の整備をしていくことを引っ張るのは、関係する市町の数が多いものですから中々スムーズにいかない。やはりこういうことに関しては県が先頭を切って引っ張っていただいて、先ほど言いましたように伊勢志摩と東紀州を連携させる一つの手段ですし、新たな観光資源としても有効ではないか。イメージ的にはドイツのロマンティック街道のような、取り組み方があるのであればというふうに思いますので、ぜひ色々ご検討いただいて先導役を果たしていただければ大変ありがたいなと思います。

## 知 事

ありがとうございます。おかげさまで特にインバウンドは国全体も好調なのですけれども、国を上回る勢いで現在増えています。観光庁発表の 7 月末までのデータでも 1 月～7 月で三重県が 18 万人を超えました。去年が全体で 17 万 8 千人でしたので、要するに去年 1 年間の分を超えてしまった状態であります。その伸び率も対前年 102%で、全国平均の対前年伸び率が 51%ですので、全国の倍伸びましたし、7 月単月で見れば、三重県は対前年比 280%増で、全国一位の部類になりました。そういう意味で非常に好調に推移をしていると思っています。加えて、昨日か今日も発表がありましたけれども、セントレアの方にエ

アアジアジャパンが、台湾等へLCC飛ばすことになりましたし、去年の12月にタイ航空の増便もありましたので、セントレア側からのアジアからの団体客が来やすい環境というのが整ってきているのかなと。関空の方は今バスが少ないと言われているので、むしろこちらからバスを出せば和歌山・奈良と連携して関空からのお客さんも、今回のシルバーウィークも、国内が多いのですけれど、楽天トラベル調べで対前年比の伸び率1位が和歌山で、2位が滋賀で、3位が三重県だったんですけれど、それぞれ宿泊が大阪中心で取れないので、周辺に泊まっていこうというのがチャンスとしてあると思っていますので、さっきおっしゃったような団体客に関する、周遊のツアー商品造成、これをしっかりやっていきたいと思えます。特に例えば今、この4年ぐらいでマレーシアからのお客さんが8倍ぐらいになっているのですけれども、それは忍者パックというひとつの旅行商品を周遊させて、泊まるのは美杉リゾートに泊まって伊賀の方へ行く等、そういう団体客をごそっと獲得するようなこともやっていますので、具体的なそういう伊勢とか東紀州をつなぐ伝統文化の話でもいいでしょうし、あるいは自然の体験の話もいいでしょうし、そういう個人旅行も対応しつつも団体の周遊で数を稼ぐ、特に中国なんかはそういうのはまだまだいけると思っていますので、最近ではセントレアもハルビンとかからの飛行機が就航したりもしているので、そういう団体客にもチャンスがあると思えますから、ぜひそういう連携をして周遊の商品造成をやっていきたいと思えます。

それから、260号・42号・311号の部分については、地元の住民団体さんとかトラック協会とかの11団体と道路管理者で日本風景街道伊勢熊野道推進協議会というのを作って、花植えとか清掃とかマップとか案内板のマップの整備を取り組んでいるというのがありますけれども、こういうのも皆さんにご協力いただきながら、今市長がおっしゃっていただいたような、場合によっては南部地域活性化基金等も活用して、複数地域で連携をしていただいてこの周遊を進める、この沿岸の風景を楽しんでいただくような取り組み、こういうのをやっていきたいと思えます。特に、道路を活用ということでいけば、タイで3番目に大きい旅行会社と連携をして、トヨタレンタカーとも連携をしてセントレアからのレンタカープランを作って今やっていますので、これは岐阜も一緒にやっているのですけれども、そういうので回ってくる一つの選択肢に、例えば260号・42号・311号みたいなものもあるのかなと思えますので、そういう既存のプランの中にもちょっと視野を広げて入れていければなと思っています。後は、道路を通るだけではなくて、特に今の260号・42号・311号沿岸で例えばシーカヤック等、自然体験系のアクティビティがたくさんある場所だと思いますので、現在日本最大の体験予約サイトのAsoview!というのと、都道府県で初めて連携をして去年からその体験予約が5倍に増えたりしているのですけれども、そう

いうのもオプションでアクティビティを紹介しながら多様なメニューを示して、このルートが活かせる取組もしていきたいと思います。

### 熊野市長

これは参考までですが、鬼ヶ城センターで確実に人数がカウントできる昼食の総数のうちの約 15%が外国人なんです。ほぼ台湾からのお客さんということで、実は今知事が言われたように和歌山県・三重県が伸びているのはおそらく関空で入ってセントレアから出る、またその逆のパターンで周遊している可能性が非常に高いと思われますね。韓国なんかも来ているという話も聞きましたけれども、台湾が中心でヨーロッパ・フランス、台湾・香港がメインターゲット、ぜひこれを伸ばしていただきたいと思いますし、やはり中国が人口規模から言ったら非常に大きいわけですし、日中関係が非常に改善の兆しを見せておりますので、熊野市からすると徐福伝説を活用できる機会にもなりますので、ターゲットとなる国を広げて取り組んでいただければありがたいなと思います。国道 260 号・42 号・311 号はこれからの話ですけども、先ほど言いましたように、関係する首長さんの中では大体、概ねこの共通理解ができていないかなと、一歩踏み出す直前まで行っているの、知事が是非ドーンと、新たな観光資源化に向けてぜひよろしくをお願いします。

## 3 国道 311 号の改修について

### 熊野市長

これも今の話につながるのですが、その前に 311 号は昨年遊木バイパスのトンネル工事を完成させていただきまして、本当に生活道路として安全性とか利便性が格段に向上したところですし、ありがたく地域住民の皆さん共々感謝申し上げます。引き続き、甫母、新鹿―遊木間ですけども、甫母については、少し工事についての取り組みが前へ進んでいますので、この甫母地区が実は大型観光バスが通れない。ここがネックになります。隘路になります。ですから、順番としては甫母の新規を含め、今後危険な新鹿～遊木間のもうひとつのトンネルにつきましても計画的に事業の推進もお願いをしたいと思います。後、これができるとう尾鷲と熊野の間を観光バスで特に楯ヶ崎の活用がやりやすくなります。ぜひ今後ともよろしくお願ひしたいということになります。

### 知 事

はい、ありがとうございます。今市長おっしゃっていただいたように、国道311号の順次改良をやっていきますけれども、現在甫母町内の約260m区間の整備に着手しまして、今年度道路詳細設計を進めさせていただく予定でありますので、詳細設計ののち、一日も早く供用できるように努力をしていきたいと思えます。それからおっしゃっていただいた遊木～新鹿間その他未改良の区間につきましては、今の甫母のところの進捗等、熊野市内の進捗状況を踏まえながら事業化に向けてなるべく前向きに進めていけるように検討していきたいと思えます。

#### 4 紀和町における観光施設活用のための県道等の整備について

##### 熊野市長

これも道路で大変恐縮ですけれども、先ほど知事が言われたように和歌山国体の開催に合わせて、奈良県側の部分についても、奈良県の部分は長かったのですが、国道169号の部分で奥瀬道路が完成して、それに合わせて奈良県の部分の311号の整備が終わっております。これによって少し和歌山県の部分でまだちょっと課題が残っているのですが、大型観光バスの通行がほぼ可能になってきました。これまでは、紀和町に入るためには新宮回りで熊野市の市街地から回っていかねばならなかったのが本宮の方面からくると直接熊野に入れるということ。それをにらんで、湯ノ口温泉の改修でありますとか瀬流荘の改修、これは県の支援をいただいて、今後もうすぐ工事に入るところなのですが、熊野市としては西の観光の玄関口として紀和町の振興をぜひとも図っていきたいと思っています。その中で目玉になるのが、やはり千枚田と最近では赤木城が非常に注目を集めています。この間も赤木城はテレビ東京のカンブリヤ宮殿で、クラブツーリズムの社長さんがその番組の中で取り上げたものですから、クラブツーリズムの社員の皆さんがぐっと盛り上げていくとそんな情報も入ってまして、赤木城については以前から観光バスで入りたいと要望を強く、実は営業をかけているとありました。それで熊野建設事務所をお願いをして、今年整備はさせていただいております。県道長尾板屋線になりますが、整備させていただいて、我々の方も1回バスを走らせて、枝葉を切ってもらうとかそういうことをチェックさせていただいて、いきなり観光バスを走らせてバサバサッとなると困るので、そういうちょっと最後の詰めをお願いしたいのと、もうひとつ千枚田を利用するためには、やはりこれは大変時間がかかるとは思っていますが、今進めていただいている熊野矢ノ川線についても引き続いて工事の進捗を図っていただければ大変ありがたいと思っております。



それから、湯ノ口温泉が新しく改修というか建て直しをしました。前年と比べると 1.5 倍ぐらい利用客が増えていまして、増えるとあそこに行く道が林道なので、市で管理していますが非常にすれ違いができない林道でございまして、この拡幅要望が出ておりまして、市の方での事業ですけれども、ぜひ林業関係は非常に財政状況が厳しいと伺っておりますが、ぜひ全面拡幅ということはなかなか難しいと思っておりますが、対向ができるように部分的に対車線を設けるとか、そういう整備に向けての支援をぜひお願いをしたいということでございます。

## 知 事

はい、ありがとうございます。長尾板屋線につきましては、紀和町大栗須地内の幅員狭小区間 50m について、この 8 月に完了させていただいたところでありまして、未改良区間につきましては、道路の利用状況や管内道路事業の進捗を踏まえて、検討していきたいと思っております。それから熊野矢ノ川線につきましては、紀和町地内の 450m 区間で今年 10 月に 200m 区間の工事が完了し、供用させる予定であります。引き続き残る 250m 区間の整備を進めて、早期供用に努めたいと思っております。

それから林道の部分につきましては、紀伊半島大水害の時も迂回路として活用された実績のある重要な林道と理解をしております。県としましても、この熊野市さんで行っていただく林道改良については、国の基盤整備交付金を活用して支援をしたいと思っておりますので、ご要望に応えられるように必要な予算の確保に努めていきたいと思っております。最近、雲海に浮かぶ城は福井県のなんとかかというところか忘れましたが、と共に非常に人気が出ていると我々も聞いていますので、活用できるように。もちろん道路整備も、注目浴びている今だからこそこういうのをさらに PR することで、道路整備の進捗も加速していけるように、赤木城跡の PR 等についてもこれからはしっかりやっていきたいと思っております。

## 熊野市長

今の県道長尾板屋線の話についてはずいぶん前から、先ほど言いましたように大手の旅行代理店を回ると実は熊野古道は去年で世界遺産登録 10 周年を迎えましたが、世界遺産以外の部分について、相当の旅行代理店が、言葉が適切かどうかはわかりませんが、手垢がついていないところがいっぱいあることで、それを発掘されているみたいです。実は大丹倉まで登られている、ほとんどの旅行代理店の関係者だと。道も全部知っているんですよ。順番としては長尾板屋線の拡幅は早い、その時からどうやら赤木城がブレイクするなというのはわかっていたみたいで、旅行代理店は専門家の目を見て、それでお願い

をしてやっていただいて、大変ありがたく思っています。最後の詰めでちょっと木を切ってもらおうとかそういうのがあるかもしれませんが、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

## 5 東京オリンピックのキャンプ候補地について

### 熊野市長

これは5年先の話ですが、今後よろしくお願ひしますということですから、熊野市は、皆さんのご承知の通りでございます、野球・ソフトボール含めた5種目が来年度のリオのIOC総会でどういふふうになるかはわかりませんが、野球とソフトボールは日本が一番推している種目ですからまず選ばれるのではないかと思っています。そのことを前提にして熊野市ではソフトボールのメッカとして国内に非常に名が通っているところでございますので、オリンピックが開催されたときには、ぜひとも野球もしくはソフトボールのキャンプ地として誘致を進めていきたいということをお願ひしておりますので、ぜひこのことについての情報収集を含め、協力やアドバイスをお願ひしたいということでございます。

### 知事

はい、ありがとうございます。東京オリンピック・パラリンピックの誘致につきましても、県としては「うちがやるぜ」という表明をしていただいた市町の皆さんとともに進めていこうと。ひとつでも多くの市に手を挙げていただこうと思ひ、今取り組みを進めているところでありますので、今の河上市長のお言葉で野球・ソフトボールが決まれば、熊野市が誘致に手を挙げるぞというご表明を頂いたと認識をしておりますけれども、私共、今年の7月にフランスのスポーツ省とイギリスのオリンピック委員会に行って、現在、手を挙げていただいているのは桑名のボート、四日市のテニス・体操、多気町のマウンテンバイクでしたので、その施設のお話等もさせてもらいました。そうしたら、当然に運動施設のことは色々聞かれるわけですが、つまりオリンピック等で色々やったりするのに耐えうるものなのかとか、当然運動施設も聞かれるのですが、それ以上に宿泊施設はどうなっているのかとか、周辺はどういうものなのかという、町全体の取り組みとか総合的な魅力みたいなことについてたくさん聞かれました。そういう意味では、日本代表をはじめ、熊野のソフトボールについては多くの皆さんが経験していただいている場所であり、様々な施設の連携もできると思ひます。ですので、非常にソフトボールの実績

も多いですし、非常に誘致に向けて我々も取り組みやすいというかPRしやすい場所であると思っていますので、ぜひこのオリンピックで野球・ソフトボールが決まりましたら熊野市さんもひとつ一緒に入っていていただいて誘致をぜひ進めていきたいと思っています。ソフトボールのやつをJOCからIOCに出す種目に決まった時の、ソフトボールの宇津木元監督も普段怖い顔ですけれどもうれしそうな顔をしていましたね。非常に良かったなあと思いますし、我々日本人からすればメダル獲れる機会の高い種目がみすみすそういうのに入らないというのはなんでだとかおかしと思うところでもありますから、ぜひこういう事前キャンプも待っているところがあるよというようなことを伝えていくこともソフトボールが決まることを待っている地域もあるよと伝える事も要望喚起の、背中を押すということにもなると思いますので、ぜひ積極的に我々も、むしろソフトボールは熊野市さんの方が色々な国と地方の競技団体とも連携やパイプが色々あると思いますけれども、我々もそういうのを様々駆使して、事前キャンプ地誘致獲得できるようにがんばっていききたいと思っています。

### 熊野市長

実はソフトボールについては今知事もおっしゃっていただきましたけれども、地元団体ともつながりもありますし、平成元年から今年で27回目だったと思うのですがソフトボールの合宿、トレーニングキャンプをやっているんです。過去その場に台湾代表の方も来ていただいたりニュージーランドの元代表監督の方に来ていただいたりして、今はちょっと途絶えているのですが、そういう海外とのつながりも若干ありますし、そういうネットワークの方も活かしていきたいと思っていますし、やはり小さな市なので、県が後押しをしてくれるかどうかというのは非常に大きな要素となると思いますので、そういう機会があれば、ぜひとも時期が近づいてきてそういう機会があれば、ぜひとも強力なご支援をお願いしたいなと思います。

### 知事

台湾等はいいと思います。ニュージーランド等もいいと思いますし、国と競技を絞って誘致に臨んだ方がいいという有識者の皆さんからもアドバイスをいただいていますので、ぜひやっていきたいと思っていますし、後色々スポーツでいきますと、温泉みたいなんですね、あるほうが、冷たい水に入って、温かいお湯に入ってというのを交互に繰り返すと疲れが取れやすいらしいので、そういうのも結構利点だというふうなことを、他の種目ですけれども、水泳の関係ですけれども、そういうふうに言われたこととかもありましたので、そういう意味では集積色々していますし、いい場所になるんじゃないかと。そもそも実績

がありますからね。ぜひ積極的に取り組んでいきたいと思しますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

### 熊野市長

追加の情報で頭の中に入れておいていただきたいのですが、今これも金山パイロットさんのご協力で用地を提供していただいて、高速道路の残土を入れてすでに用地が確保できていまして、すぐにこの方向で防災公園を整備中でございます。普段は防災公園として利用は無いものですから、普段は野球場と災害の時には物資の搬入もしくは一時的な避難場所になる雨天練習場を用意する予定でございます、施設的には熊野市に両翼 100m、センター122mの球場が 2 つできるわけです。雨天練習場が 2 ヶ所。今回の雨天練習場は 40m×50m ですからほぼ内野がすっぽり入る、多分県内では一番大きい雨天練習場ができますので、そういうことも念頭において、ぜひご支援いただきたいなと思ひます。

## 6 近畿自動車道紀勢線（熊野市久生屋町～紀宝町）早期事業化について

### 熊野市長

紀勢線、熊野尾鷲道路については本当に知事が先頭を切って、国への働きかけを強力に行っていたいただいている中で、大泊まで本当に早く完成をして、少なくとも観光支援という面では非常に大きな効果が出ていると思ひます。改めて感謝を申し上げたいと思ひます。熊野道路は事業化が決定しておりまして、近々最終的な造成についての説明会がこの 10 月下旬に行われる予定でございます。私共も熊野道路の整備促進については引き続き知事のお力をぜひともこれまで以上に発揮していただきたいと思ひますし、久生屋～紀宝の間、主に御浜町さんになってくるのですが、やはり道路は繋がってその効果が初めて最大限発揮されるという認識ですし、この間の早期の事業化も含めて、今後も引き続き高速道路の整備に向けてぜひともお願ひをしたいな、と。知事のお力をお願ひしたいなということでございます。

### 知事

本当にこの近畿自動車道紀勢線につきましては、今市長から教えていただきましたけれども、そもそも市長をはじめ地域の皆さんの悲願で長く要望活動をしていただいた結果だと思ひしておりますので、先ほどおっしゃっていただいたように道路は繋がってこそ効果を発揮するものですから、私も引き続き要望を強めていきたいと思ひています。

私としては、ここの路線について、三重県の中でも最重要路線として、しっかり要望をしていきたいと思っておりますけれども、全国高速道路建設協議会副会長でもありますので、今度11月にちょうど新会長の高知県知事が選挙なので私が代わりに何かやらなければならないのですけれども、そういうふうにおいても、道路予算全体のしっかりとした確保ということも訴えながら、そういう汗もかきつつ、全体についても汗をかきつつ、こういううちの最重要路線についてもしっかり認めてもらうというようなこともやっていきたいと思っておりますし、今日、近畿自動車道紀勢線に大変ご理解深かった太田国交大臣が多分代わってしまいますので、新しい国交大臣にも、早期にお願いに上がり、早期に見に来ていただけるような働きかけをぜひやっていきたいなと思っております。後、ストック効果というのを相当国交省、特に新しく次官になられた徳山さんがよくおっしゃいますので、地域ならではのこういうストック効果が表れたというようなことのネタ等、知恵も色々頂いて、それを伝えていくということで、この要望実現に向けて加速させていくというようなことでやっていきたいなと思っておりますので、また和歌山県ともしっかりと連携をしながら、一緒になって取り組んでいきたいと思っておりますので、頑張りますので引き続きよろしくお願ひしたいと思っております。

#### 熊野市長

本当に、この高速道路の効果は想定以上に、確かに地域の方の中には「お客さんが外に流れている」という話もありますが、私はトータルで見れば本当にプラスの効果の方が大きく出ているだろうなと思っておりますし、さらに先ほど言った色々な取り組みを進めて高速道路の効果をさらに発揮させていかなければいけないと。そのことが今後の道路の整備促進につながると思っておりますので、当然地元関係者も一生懸命やりますが、引き続いてよろしくお願ひしたいということでございます。

### (3) 閉会あいさつ

#### 熊野市長

ありがとうございました。この施設も実は県営事業でやっていただいた施設でございまして、今日、金山パイロットの関係者の方もひょっとしたらいらっしやるかもしれませんけれども、みかんジュース提供していただきましたし、夢工房というジュース工場の本拠地でございます。みかんの有効活用という点ではこの施設、非常に効果を発揮していただいている施設でございまして、この

ことに触れておかないと関係者の皆さま、本当に県のお力をお借りしてできたものでございます。本当に地域の柑橘生産者の方からすると大変喜んでいて施設でございます。本当にありがたく思っているところでございます。引き続き、色々な場面でご支援賜りますようによろしく申し上げます。

## 知 事

ありがとうございました。働く場の創出に向けた様々な項目についてご議論差し上げました。我々もしっかり、この来年度の重点取り組みのひとつが南部地域等の働く場の創出ということにありますので、しっかり取り組んでいきたいと思えます。それから話が全然変わりますが、私9月28日にニューヨークに行ってきたのですが、ニューヨークのプレゼンの最初の動画が自分のコンセプトとしては「動と静」、このダイナミックな部分とスタティックな部分両方を示すという動画で、最初にずっと静から始まって、千枚田を映したりしながらやっていって、途中でズザザザと砂嵐みたいなのが流れて、次に最初にそこまで音楽があるんですけども音楽が消えて、すごく大きい音で熊野の大花火がバーンといくというのをやって、それが花火でドーンと大きい音を出してさらに石取祭でさらに大きい音を出してF1の大きい音を出してみたいにダダダッとやったところ、大変好評でありまして、「あんなに素晴らしい花火があるのか」ということをおっしゃっていただいたようなことがありました。そういう既に知られている花火もさることながら、先ほど市長おっしゃっていただいたように旅行者さんいわく「手垢の付いていない、潜在的に魅力のあるもの」も含めて、まだまだいいものがたくさんあると思えますから、共に連携をして、PRをし、その定住人口に、やはり交流無くして定住無しだと思えますので、交流人口増えるように、しっかり共に頑張っていきたいと思えます。よろしく申し上げます。ありがとうございました。